

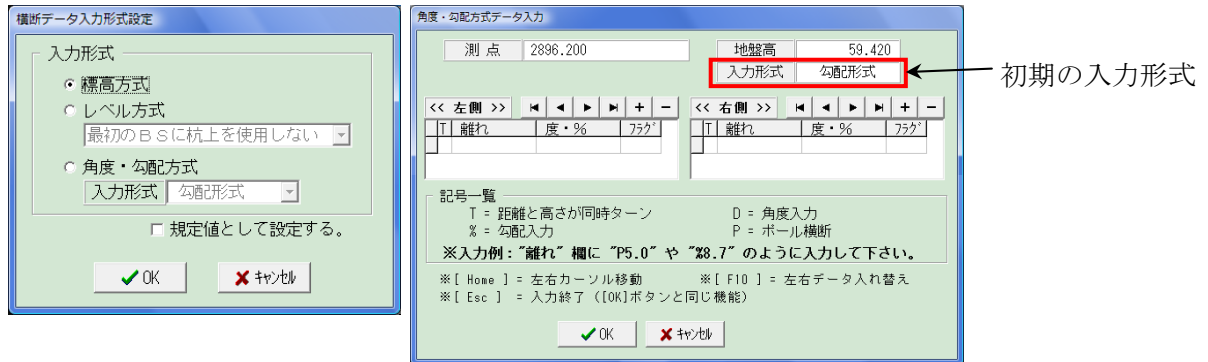
改定内容・機能説明 (平成22年6月)

● Win-Road Ver. 6.00 (Ver. 5.30 以降の改定内容)

- Win-Road Ver. 6.00 から、Windows Vista/7 での動作が可能になりました。
- Win-Road Ver. 6.00 は、Windows Vista/7 以前の OS (XP 等) でも使用できます。

・ [現況 I/O] - [横断データ I/O]

横断データの入力形式に、「角度・勾配方式」が追加になりました。



・ 入力方式は、[勾配形式]・[角度形式]・[ポール横断形式] から選択し、設定された方式が路線ごとの初期値となります。

・ 節点データの入力途中で「入力記号」を入力することにより、入力形式を変更できます。

[入力記号] ※ポール横断以外、離れ (距離) は「斜距離」を入力

T = ターン点 ... 「度・%」が 0.0 の場合、距離のみターン。

ターンと入力形式の変更は同一データで行うことは出来ませんので、ターンのみのダミーデータ入力が必要です。

% = 勾配形式 ... センターまたはターン点からの値を入力。

D = 角度形式 ... センターまたはターン点からの値を入力。

P = ポール横断形式... 現ポイントからの距離と高さを入力。

・ 節点データの入力途中で入力形式を変更した場合、次に入力記号が変更されるまで変更後の入力形式が有効になります。

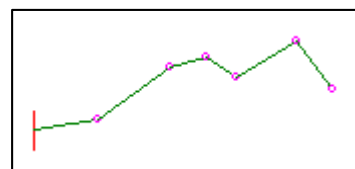
(例) 初期の入力形式=勾配形式 とした場合、(センターGH=100.00)

T	離れ	度・%	フラグ
	5.500	17.500	2
	12.550	46.800	2
T	0.000	0.000	2
D	3.050	13.000	2
	5.650	-8.500	2
P	5.000	3.000	2
	3.000	-4.000	2

標高データに変換されると

(R)DIS	GH	フラグ
>	5.418	100.948
	11.367	105.320
	14.339	106.006
	16.955	104.485
	21.955	107.485
	24.955	103.485

地形形状



改定内容・機能説明

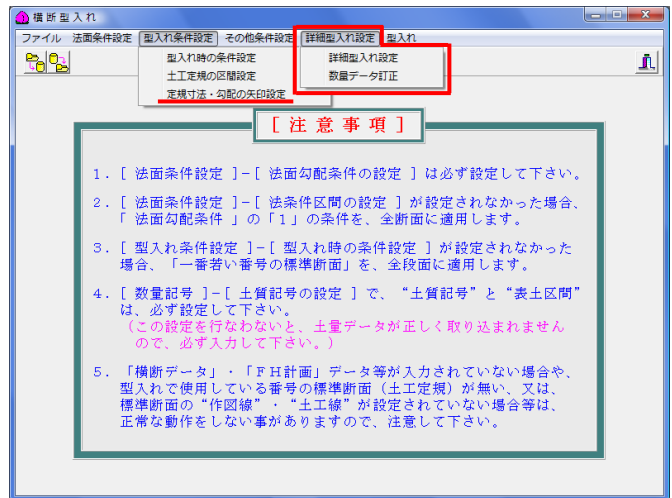
(平成22年6月)

・ [横断型入] - [自動型入]

横断型入れでは、

- [型入れ条件設定]
- [定規寸法・勾配矢印設定]
- [詳細型入れ設定]
- [詳細型入れ設定]
- [数量データ訂正]

以上の3つの機能を新に追加しました。
又、各設定へ文字幅などの設定を下記のように追加・変更になりました。



・ [法条件設定] - [法長・勾配作図条件]

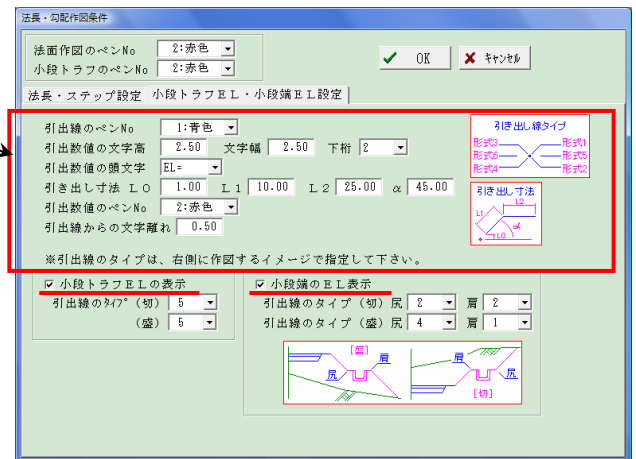
・ 法長・ステップ設定

- ・ 共通の設定項目部分を、より判りやすくしました。
共通の設定部分は、「法長の表示」又は「ステップの表示」何れかにチェックを入れると設定できるようになります。
- ・ 共通設定部分には、寸法線からの文字離れ。
法長・ステップの表示には、文字幅の設定を追加しました。



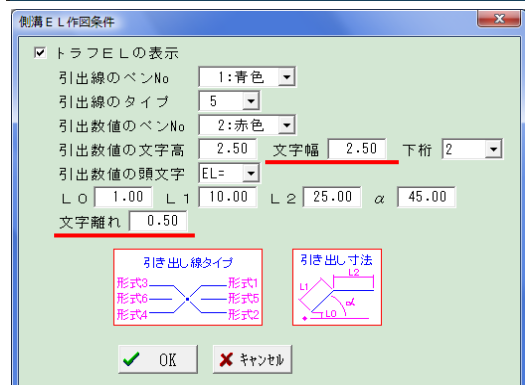
・ 小段トラフE L・小段端E Lの設定

- ・ 共通の設定項目部分を、より判りやすくしました。
共通の設定部分は、「小段トラフE Lの表示」又は「小段端のE L表示」何れかにチェックを入れると設定できるようになります。
- ・ 共通設定部分には、引出数値の文字幅、引出線からの文字離れを追加しました。



・ [法条件設定] - [側溝E L作図条件]

- ・ 引出数値の 文字幅 と 引出線からの 文字離れ の設定を追加しました。



改定内容・機能説明

(平成22年6月)

・ [型入れ条件設定] - [定規寸法・勾配矢印設定]

新しく追加した機能です。

通常、標準断面（土工定規）の寸法線や勾配の矢印タイプや値の文字サイズなどは、それぞれの標準断面で設定していましたが、使用する標準断面で設定値を一致させていないと横断面で文字サイズが合わないなど、図面間の統一が取れませんでした。

この設定により、文字サイズ・勾配・引出の矢印タイプが「標準断面」作成時にバラバラに設定されていても、型入れの際に統一することが出来ます。

定規寸法・勾配の矢印設定

※標準断面の寸法・勾配の矢印サイズを設定します。

標準断面寸法の表示

寸法矢印のタイプ 2

寸法矢印の L 1.40 H 0.40

寸法情報の H1 0.50 H2 1.00

文字の縦横比 1.000

以下の設定を有効とする

寸法線のペンNo 1:青色

寸法文字のペンNo 2:赤色 単位 mm

寸法値 文字高 2.50

文字幅 2.50 下桁 0

標準断面勾配の表示

勾配矢印のタイプ 3

勾配矢印の L 1.40 H 0.40

勾配情報の H1 0.50 H2 1.00

文字の縦横比 1.000

以下の設定を有効とする

勾配表示タイプ 常に低い方へ

勾配線のペンNo 1:青色

勾配文字のペンNo 2:赤色

勾配値 文字高 2.50

文字幅 2.50 下桁 2

標準断面E/L引出の設定

E/L情報の H1 0.50

文字の縦横比 1.000

以下の設定を有効とする

E/L引出線のペンNo 1:青色

E/L引出文字のペンNo 2:赤色

E/L引出値 文字高 2.50

文字幅 2.50

矢印タイプ 1 ← 3 → 2 ← 4 →

寸法情報 H1 0.50 H2 1.00

勾配情報 0.0% H1 H2

標準断面の線

OK

キャンセル

この値を「マスター」とする。 ←

※寸法の引き出しポイント、道路勾配の表示ポイント、E/Lの引き出しポイントは、今まで通り「標準断面」作成時に設定が必要です。

※ココで設定された値を初期値とし、新規地区作成時に反映します。

※1. で示す部分にチェックを入れないと、標準断面で寸法などの設定を行っていても作図されないので注意して下さい。

又、チェックが入っていても、標準断面で寸法などの設定を行っていないければ作図されないので注意して下さい。

※2. で示す部分のチェックは、

チェックを入れた場合

⇒ この画面で設定した色・文字サイズで型入れを行います。

「文字の縦横比」は無効となり、指定された文字高・文字幅で作図します。

チェックを外した場合

⇒ 標準断面で設定したペン番号・文字サイズで作図します。

文字幅は「文字の縦横比」で設定された文字比率が有効となります。

・ [その他条件設定] - [埋設管 E/L・流水方向条件]・[センターシフト条件]

文字幅・文字離れの設定を追加しました。

・ [詳細型入れ設定] - [詳細型入れ設定]・[数量データ訂正]

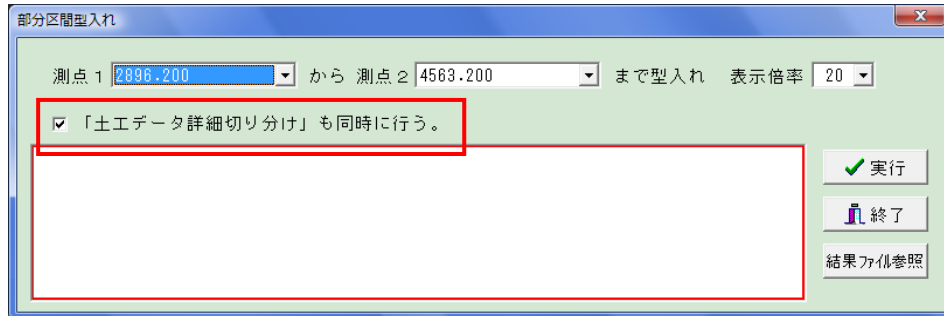
Ver. 6.00 から、型入れ時に「詳細型入れ」も同時に行うように修正しましたので、「土工データ詳細切り分け」の [条件設定] と [数量データ訂正] を自動型入れからも呼び出せるように修正しました。

改定内容・機能説明 (平成22年6月)

・ [型入れ] - [型入れ] ・ [型入れ (高規格用)]

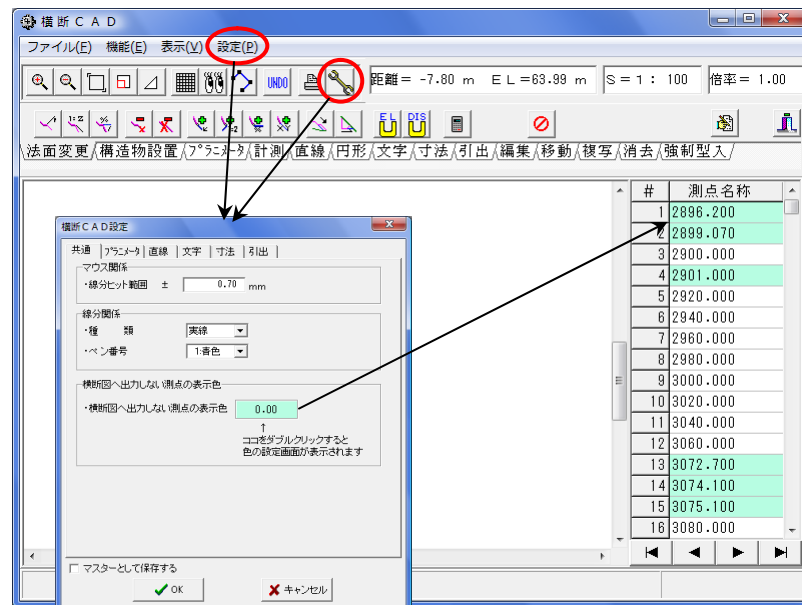
Ver. 6.00 から、型入れ時に「詳細型入れ」も同時に行うようになりました。

「詳細型入れ」も同時に行う場合は、下記の で示すチェック欄にチェックを入れて型入れを行って下さい。

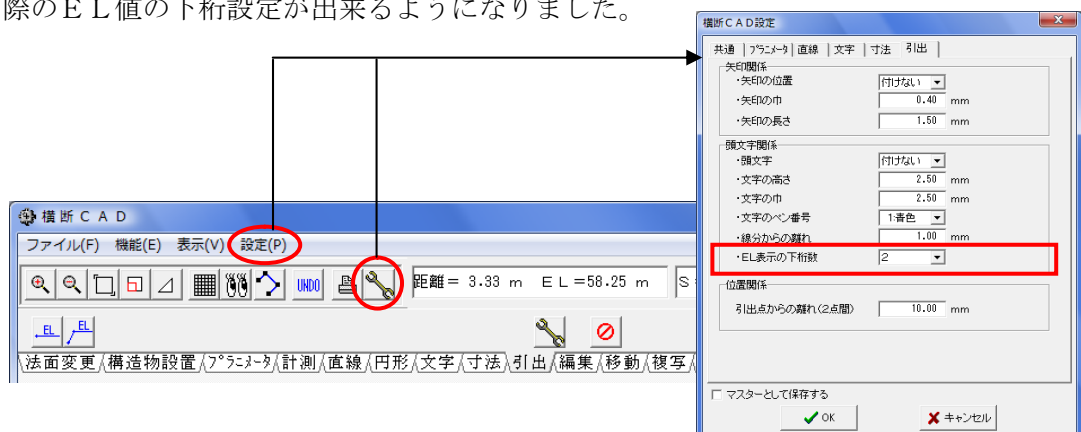


・ [横断CAD]

・ 「測点名称」欄の測点の一覧表示で、横断図への出力フラグをOFFにした測点の表示色を変更し、判別しやすくしました。この表示色は設定で変更できます。



・ 「引出」の際のEL値の下桁設定が出来るようになりました。



改定内容・機能説明

(平成22年6月)

- 「強制型入れ」で、自動型入れ同様に「土工データ詳細切り分け」を同時に行うことが出来るようになりました。

チェックを外すと、「土工データ詳細切り分け」は行いません。

このボタンを押すと、「土工データ詳細切り分け」の [条件設定] を呼び出せます。

・ [図面作成] - [横断面]

- ・ [条件設定] - [数値出力情報]
文字幅の設定を追加しました。

- ・ [条件設定] - [タイトルボックス設定]
文字高・文字幅の設定を、下2桁まで入力できるようになりました。
タイトルボックスの表サイズの設定も下2桁まで入力できるようになりました。

項目	ベン	位置X	位置Y	文字高	文字巾	全桁	下桁
S P	1	0.00	30.00	3.00	3.00	16	0
G H	1	-15.00	25.00	2.50	2.50	8	2
F H	2	-15.00	20.00	2.50	2.50	8	2
CH/BH	2	-15.00	15.00	2.50	2.50	8	2
CA/BA	2	80.00	30.00	2.50	2.50	6	2
MCA/MBA	2	100.00	-50.00	2.50	2.50	6	2
D L	1	0.00	0.00	3.00	3.00	8	2
数量表	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0

・ [レイアウト] - [図面番号の再構築]

横断測点の移動・削除などで図面番号が中抜けになった場合などに使用します。

「開始図面番号」で指定された番号から順に、図面番号を「ふり直し」ます。

(例) 横断面図が、1・2・3・5・8・12・13・14 と、存在していた場合で、

開始図面番号=10 の場合、 10・11・12・13・14・15・16・17 となります。

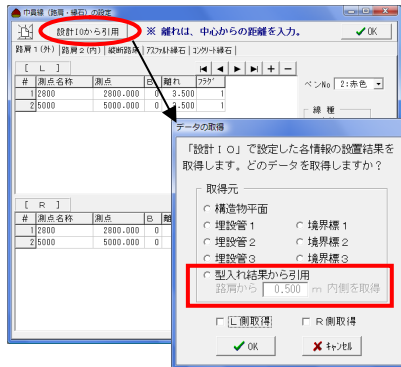
改定内容・機能説明

(平成22年6月)

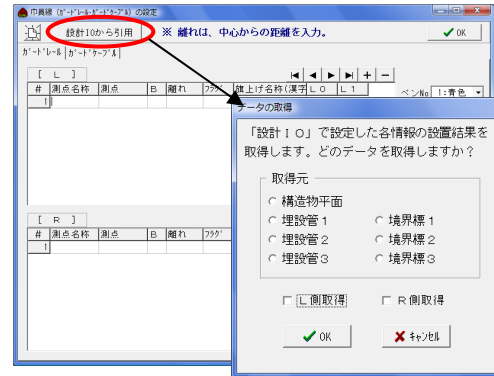
・ [図面作成] - [平面図]

・ [巾員線] - [路肩・縁石] ・ [防護柵] に、「設計 I O から引用」機能を追加しました。

・ [路肩・縁石] データ



・ [防護柵] データ



①. データを引用したいタブを開き、「設計 I O から引用」ボタンを押します。

②. 「取得元」(引用したいデータ)を指定します。

※ [路肩・縁石] データで、「型入れ結果から引用」を選択した場合、路肩から指定された値を「減算」して取得します。主に舗装端など、路肩からの距離がほぼ一定の情報を取得するのに使用します。

この場合の「路肩」とは、標準断面で設定された「土工線 (1. 通常土積)」の終了点を指します。

(例) 路肩の値が 4.50 の場合で、入力値が

0.500 m の場合、取得値は 4.00。

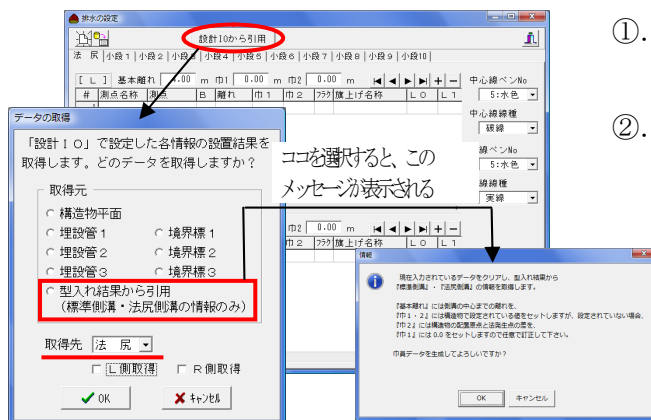
-0.500 m の場合、取得値は 5.00 と、なります。

③. 取得する側 (L 側か R 側、又は両方) を指定し、「OK」ボタンを押します。

④. 引用確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択すると引用されます。

「キャンセル」を選択すると、引用せず処理を終了します。

・ [排水]



①. データを引用したいタブを開き、「設計 I O から引用」ボタンを押します。

②. 「取得元」(引用したいデータ)を指定します。

※ 「型入れ結果から引用」を選択した場合、標準側溝と法尻側溝として型入れされた側溝の情報を引用します。

巾 1・2 へは、構造物で設定されている値を引用します。

(詳しくは次頁、[構造物] 参照)

③. 取得先のタブを確認 (法尻・小段 1~10) し、取得する側 (L 側か R 側、又は両方) を指定し、「OK」ボタンを押します。

④. 引用確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択すると引用されます。

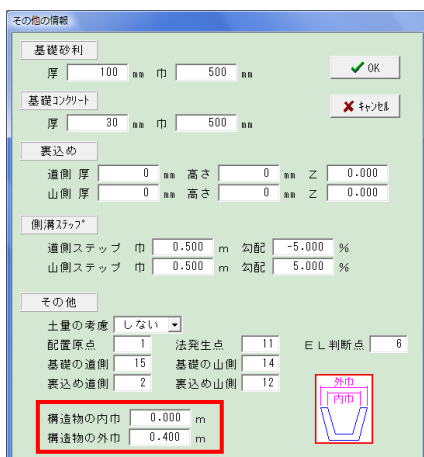
「キャンセル」を選択すると、引用せず処理を終了します。

改定内容・機能説明

(平成22年6月)

・ [構造物]

[平面図] の [排水] データへ反映させる為、構造物の設定に「内巾」と「外巾」を追加しました。



[平面図] の [排水] データの「巾1」へは「内巾」の値を、「巾2」へは「外巾」の値をセットします。

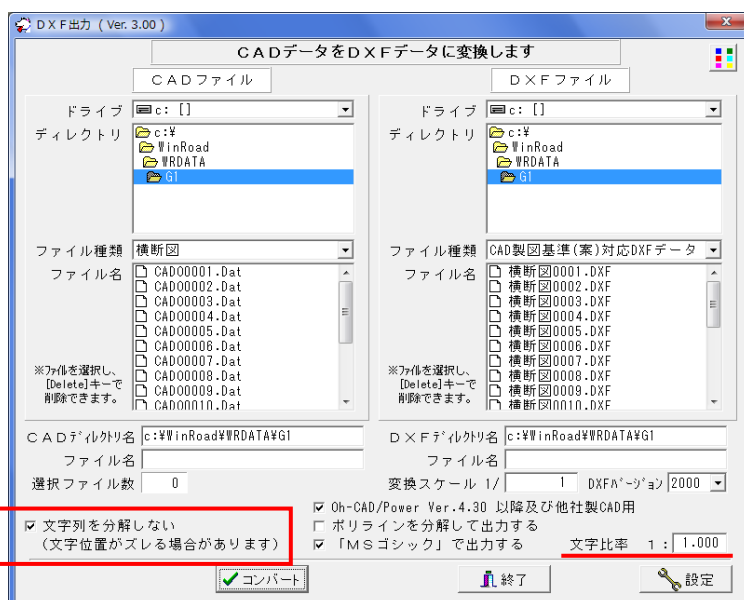
「内巾」・「外巾」どちらへも値が設定されていない場合、[平面図] の [排水] へは「巾1」 = 0.0 がセットされます。「巾2」 = 構造物の「配置点」と「法発生点」のX座標値の差がセットされます。

・ [ファイル] - [外部データ入出力] - [Win-Road DXF出力]

DXF出力では、縦・横断・平面図で使用している文字列が全角・半角混在の場合などは1文字ずつに分解し、文字位置が合うようにDXF出力していましたが、分解の有無を選択できるようにしました。

但し、[横断図] のタイトルボックスや [縦断図] の段組 (帯組) みのタイトルのように、文字間隔(S)が設定されている (又は自動設定される) 場合は、今まで通り文字列を分解してDXF出力します。

尚、「文字比率」の設定は今まで通り有効ですが、横断図で文字幅の指定をしていた場合や、縦断図で文字比率を指定して出力指定していた場合、指定された文字幅・文字比率で出力されたデータに対して、更に文字比率がかけられますので注意して下さい。



(文字比率の考え方、例)

①. 横断図の場合

文字高=3.50、文字幅=1.75の場合で、出力文字比率=0.90でDXF出力すると

[結果]

文字高=3.50、文字幅=1.575

②. 縦断図の場合

文字高=3.50、文字比率=0.80の場合で、出力文字比率=0.90でDXF出力すると

[結果]

文字高=3.50、文字幅=2.52

※DXF出力時の「文字比率」は、DXFを読み込むCADによって文字幅・文字比率の扱いが違う場合があります、意図した値にならないことがあります。

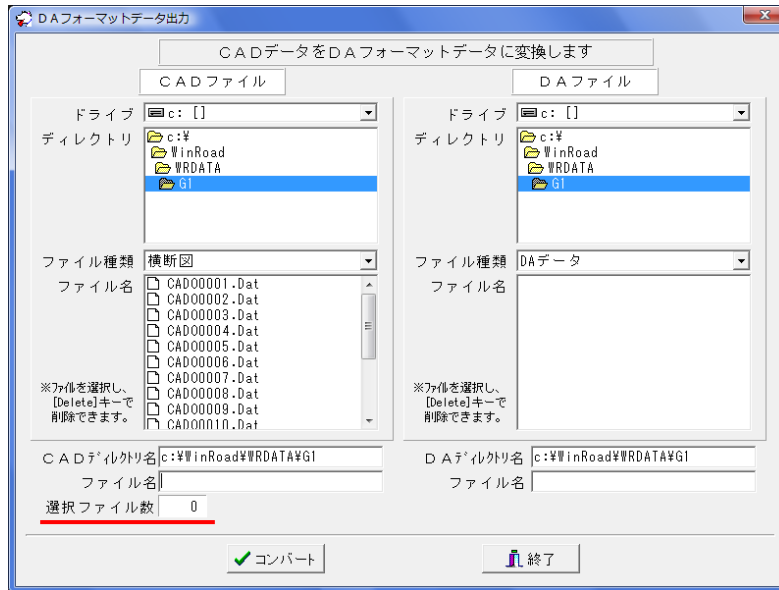
その場合は出力側か読み込み側、どちらかの文字比率設定を無効(1.00にする)にして下さい。

改定内容・機能説明

(平成22年6月)

・ [ファイル] - [外部データ入出力] - [Win-Road DAフォーマット出力]

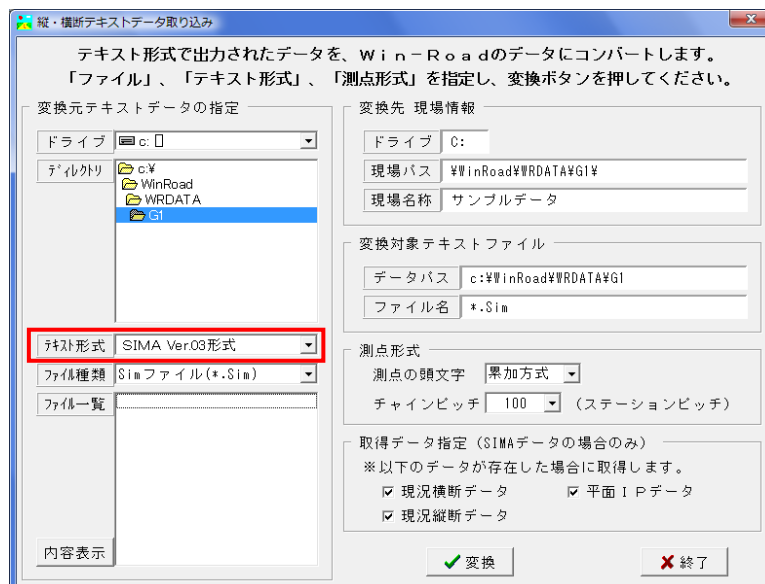
一度に複数のファイルを指定してDAフォーマットファイル（拡張子=.FSC）へ出力できるようになりました。



※DAフォーマットは、CADPACの外部出力データ形式です。

・ [ファイル] - [外部データ入出力] - [縦・横断テキストデータ取り込み]

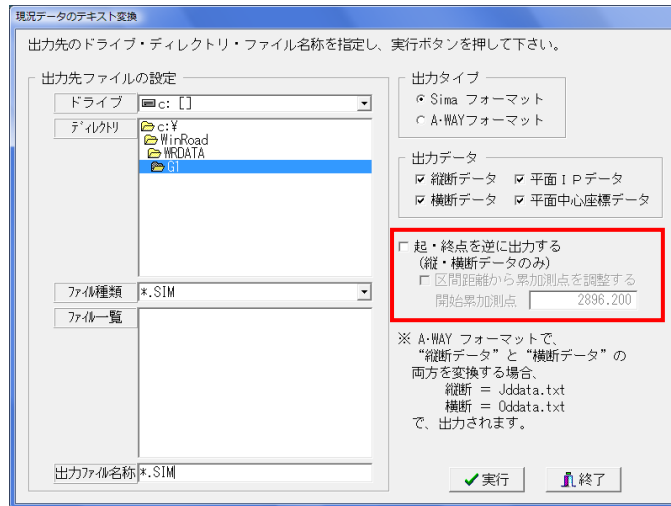
読み込むデータ形式を、「CSV形式」と「SIMA形式」の2タイプに限定しました。



改定内容・機能説明 (平成22年6月)

・[ファイル] - [外部データ入出力] - [縦・横断テキストデータ出力]

現況縦・横断データの、起・終点を逆にして出力する機能を追加しました。



- ・起・終点を逆に出力する

測点の並びを 昇順⇒降順、降順⇒昇順 のように「逆」にしたい場合に使用します。

- ・区間距離から累加測点を調整する

測点名称はそのまま、区間距離から累加測点を算出して調整します。

測点を逆転させた場合に必要に応じて使用します。

- ・開始累加測点

「区間距離から累加測点を調整する」場合に、起点の測点を設定します。

開始累加測点で設定された値を起点として、区間距離から累加測点を算出して調整します。

「CSV形式」や「SIMA形式」で取得したデータの中には、起点と終点が逆転しているデータがあります。

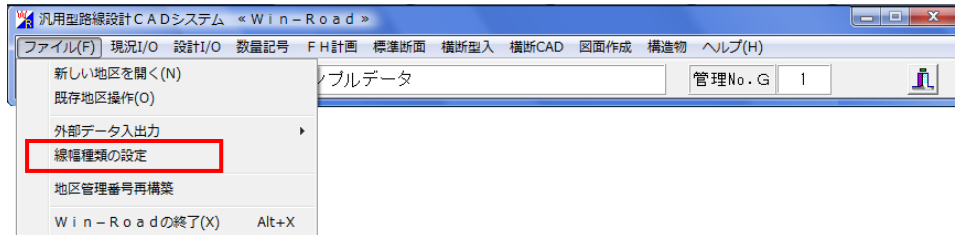
しかし、Win-Roadでは測点が「昇順」になっていることが前提のため、起・終点が逆転しているデータでは正常に動作しません。

この様なデータの場合、起・終点を逆にして「SIMA形式」データへ出力し、再度 [縦・横断テキストデータ取り込み] を行っていただくことにより、測点データの並びが「昇順」になり、Win-Roadで扱えるようになります。

・その他

・ [線幅種類の設定] メニューを移動しました

『線幅種類の設定』を、メニューの [現況 I/O] から [ファイル] へ移動しました。



・ インストール先のフォルダ名称

Win-Roadのインストール先のフォルダ名称は、ドライブの直下に「WinRoad_6」フォルダを作成してインストールして頂くのを推奨しておりますが、Ver. 6.00 からインストール先のフォルダ名称を「WinRoad_Vista」等のように任意に設定することが出来るようになりました。

但し、フォルダの階層が深くなるとプログラムが起動しなくなる場合がありますので、インストール・フォルダは従来どおり、ドライブの直下に行ってください。

(例) Dドライブに WinRoad_Vista というフォルダ名でインストールしたい場合

- D:¥WinRoad_Vista
- × D:¥Program Files¥WinRoad_Vista

・ データコンバート (旧バージョンとのデータ互換)

Ver. 6.00 以前のWin-Roadのデータは、そのままコピーしても使用できません。

別紙の「Win-Road Ver. 6.00 へのデータコンバート」を参照し、データをコンバートして使用して下さい。

データコンバートでは、地区 (現場) データ・マスターデータのコンバートが行えます。

・ ヘルプシステム

Windows Vista/7 では、従来のヘルプが使用できません。

尚、今回の納品内容にはヘルプが含まれていないため、各プログラムの「ヘルプ」ボタンは非表示、又は使用できないようになっています。

ヘルプファイルは現在作成中ですので、完成し次第、製品CDをお送りいたします。

・ 極楽「体系プロ」プロフェッショナルとの互換

『Win-Road Ver. 6.00』のデータは、『極楽「体系プロ」プロフェッショナル Ver. 7.30』で引用が可能です。

体系プロ Ver. 7.30 は、Win-Road Ver. 6.00 よりも前のバージョンのデータも引用できるようになっています。(詳しくは、別紙「体系プロ 改定内容・機能説明」参照)